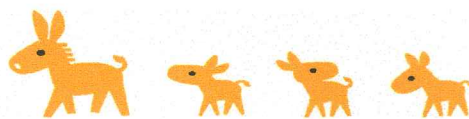


オレンジ通信

平成25年8月23日 Vol.2



認知症サポーターのマスコット「ロバ親子のキャラバン隊」

大洲中2年生を対象にこども認知症サポーター養成講座を開催！

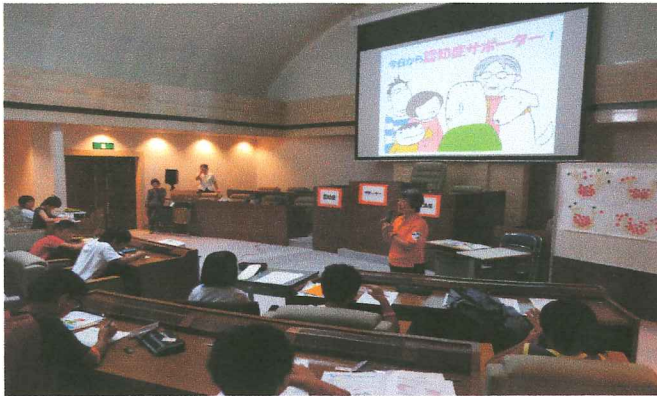


- ★ 7月19日に大洲中2年生90名を対象に各クラスで行われました。
大石さきさんが書いた脚本の寸劇には孫の勇くん役で、中学生も参加してくれました。
- ★ 講師役は認知症キャラバン・メイト（ボランティア）が12名参加し、こども認知症サポーターとして地域で支えることの大切さを伝えました。
- ★ 中学生のアンケートより
 - ・「認知症の人だって同じ人間。少し行動が違っているからって差別をするのはおかしいと思う」
 - ・「認知症サポーターとして、『優しい気持ち』が一番大切かなと思いました」
 - ・「私にも認知症のおばあちゃんがいる、同じことを何回も聞いてくるから、今まで面倒だと思ったけれど、講座を受けてからは『これからはちゃんと話を聞いたり、話したりしてもっと関わろう』と思いました」

なぜ オレンジ なの？

- 「柿色」をしたオレンジリングは、認知症サポーターの目印です。江戸時代の陶工・酒井田柿右衛門が夕日に映える柿の実の色から考案した赤絵磁器は世界的な名声を誇りますが、同じく「日本初」の認知症サポーターのオレンジリングが世界のいたるところで認められればとの思いからつくられました。なお、温かさを感じさせるこの色は「手助けします」という意味をもつといわれています。認知症サポーターの活動は全国の自治体で行われています。
- 藤枝市では平成25年8月現在、5,624人の認知症サポーターがいます。藤枝市民の多くの人々がサポーターになるようこれからも取り組んでいきます。

岡部、高洲の各地区社協でも、小学生対象の講座を行いました。



岡部地区社協の講座の様子



高洲地区社協の講座の様子

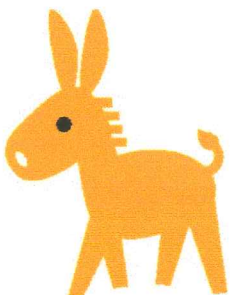
- 岡部の講座は、3階の議場で行いました。子ども達は立派な椅子に座り、「国会議事堂だ！」と喜んでいました。高洲での講座の後には、実際に高齢者との交流もあり、子ども達にとって有意義な1日となったようです。
- 健康な大人の脳と認知症の人の脳の重さを1人ずつ体験し、認知症の人の脳の軽さに驚いていました。(本物ではなく、味噌です)

市役所から目指そう！高齢者が安心して暮らせるまち藤枝



昨年の講座の様子

- ◆ 昨年から開催している、新規採用職員対象の認知症サポーター養成講座を、今年度は『職員寺子屋』として開催します。新規採用職員と、希望する職員はぜひ、ご参加ください。
- ◆ とき 9月3日 15時～17時
- ◆ ところ 西館5階大会議室
- ◆ 申し込み
スターオフィスデータ更新キャビネット
⇒総務部⇒人事課⇒職員寺子屋⇒「認知症サポーター養成講座」受講生受付簿に記入



ロバ隊長

「ロバ隊長」は認知症サポーターキャラバンのマスコットです。認知症サポーターの「キャラバン」(隊商)の隊長として、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」への道のりの先頭を歩いています。ロバのように急がず、しかし一歩一歩着実に、キャラバンも進んでいきます。